

郡上の地域資源を生かし、地域の課題を解決する
新しいプロジェクトが始まっています！

Vol.95

踊り着に込めた想い 郡上の衣服文化を 次世代へ



地域の衣服のパターンや、和装のシルエットや
機能を活かした「オドリギ」

明宝歴史民俗資料館に静かに佇む一着の半纏。一つ一つが異なる当布の綾が生み出すパッチワークの美しさ。手縫いによるつぎはぎの丁寧さ。これは私の曾祖父が愛用していたものです。蚕による紡績で栄えた郡上の紡織文化のいしずえには、こうした一人一人がつむいだ暮らしの衣服がありました。さて、「郡上の夏」と聞けば、多く

の人が盆踊りを思い浮かべるのではないだろうか？ 私たちは、その盆踊りに何を着ていくのか、という問いをもとに、2024年に衣服ブランド「ODORIGI」を立ち上げました。「ODORIGI」は、郡上では認知されてきた踊り手ぬぐいや、踊り下駄と同じように、踊り着という言葉を新たな文化資産として生み出し、自由に踊る人のための服作りを地元で展開しています。

その衣服を彩るのは、郡上発祥とされる「シルクスクリーン印刷」です。「水と空気以外なんにでも印刷できる」と言われたこの技術は、戦後の日本の印刷文化の発展を支えてきましたが、機械化の波と後継者不足により、郡上の工房は大きな転換期を迎えています。私たちは手刷りの美しさと精度、何よりもプリントの融通がきく自由度を大切に、郡上の若手印刷業者、デザイナー、パタンナーと連携することで、時代の波を創造的に乗り越えようとしています。

これまで長良川デパートやニューヨークのブルックリンでの企画展を経て、今夏は東京渋谷でも予定されている「踊り着」の販売は、踊り場や、スクリーン印刷を体験できる場とともに開くことで、踊

り文化と印刷産業の融合を試みています。

ところで、冒頭の半纏を着ていた私の曾祖父は、郡上蚕糸販売農業協同組合連合会で活動していた経緯があり、かつて栄えた繊維産業への関心が私の原点です。郡上紬や郡上本染、縫製技術者や印刷産業の発展など、地域の染織文化に学びながら、この土地で暮らす人間として文化継承に携わりたい。そんな想いを胸に、『踊る自由』を楽しむための服作りを通じて、郡上の魅力を伝える一翼を担っていきます。みなさまのご支援をお願いします。

株式会社ODORIGI
代表取締役社長 下田知幸
info@odorigi.com



Instagram
odorigi_official



GUJO ODORIGI
ASSOCIATION

2025

8/6 水

13:30~16:30

郡上八幡ホテル積翠園

最大2万円
交通費・宿泊費
補助金制度あり!!



対象者

既卒、令和8年3月卒業予定の新規学卒者（高校生・大学・短大・専門学校等）とその保護者

転職希望者、U・Iターン希望者、短時間勤務希望者含む

※令和9年3月卒以降の学生（高校1年生・2年生、その保護者）も企業研究としてご参加いただけます。

※参加証明書をハローワークブースでお渡しします。
雇用保険受給者の方は求職活動実績1回となります。

参加企業

市内優良企業多数参加!!
参加企業は随時HPにて更新



《お問合せ》郡上市雇用対策協議会 ☎67-1808

参加
無料

事前申込
不要

服装
自由

何時に
来ても
OK

入退室
自由

郡上市合同 企業説明会



あなたらしく働ける

仕事と出会おう